

令和6年度 千葉県障害福祉事業課 研修

学校の長・保育所等の長、
医療機関の管理者向け
障害者虐待防止・権利擁護

～1人ひとりを大切に

弁護士 佐久間 水月（さくまみづき）

本日皆さんと一緒に考えたいこと (お話のアウトライン)

第1 はじめに ～大切なあなたへ

第2 大切にしたいこと

第3 前向きな実践のための理解

第4 学校・保育所等の虐待防止

第5 医療機関等の虐待防止

第6 まとめ ～

～虐待を容認しない、放置しない

* 「障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応
の手引（令和6年7月）」

* 「障害福祉サービス等事業者向け 職員を利用者・家
族等によるハラスメントから守るために
（令和4年3月）」

第1 はじめに ～大切なあなたへ

1 現代社会の人間関係

- 共生社会、地域共生社会
- 多様性、ダイバーシティ
- 自分らしさ、個性
- ありのままに



人間として同じだけど、やはりそれぞれ違うよね？

人間それぞれ違うけど、同じかも？



違い（ズレ）を認め、それだけでいい場面もある？

違い（ズレ）を認め、調整が必要な場面もある？

2-1 現代社会で生きるということ

- (1) 価値観の多様化、ダイバーシティ & 変動の速さ
背景・人間関係の複雑化、多様化、希薄化
距離感の取り方が難しい

- (2) 1人ひとりの個性を尊重する一方で、格差を生む
加齢は平等であるが、老化は個人差が大きい
 - 身体的特性（心身の健康状態）
 - 精神的特性（教養、生きがい、精神的成熟）
 - 社会的特性（社会的役割・人間関係など）
 - 経済的特性（安定収入、それなりの暮らし）

2-2 現代社会で生きるということ

(3) 受容と抵抗のミックス

喪失・不安等へ不適應

欲求と環境の不調和への不満や防衛

他者比較における苦しみや妬み

(4) 今の自分と将来の自分は違うことを意識できない

(5) 弱い者同士の支え合いゆえに、もろい

1つが崩れると、すべてが崩れる

第2 大切にしたいこと

1 理念（BE）と実践（DO）

(1) 「人権」理念（BE）

「大切にされる権利」は、誰にでもある

1人ひとりを大切に＝お互いを尊重する

「自分自身を大切にできる権利」がある

私はワタシでいたい

(2) 日々実践（DO）

人生は毎日の積み重ね

どんなにきれいごとと言っても、実践！

*** 新宿区手をつなぐ親の会より**

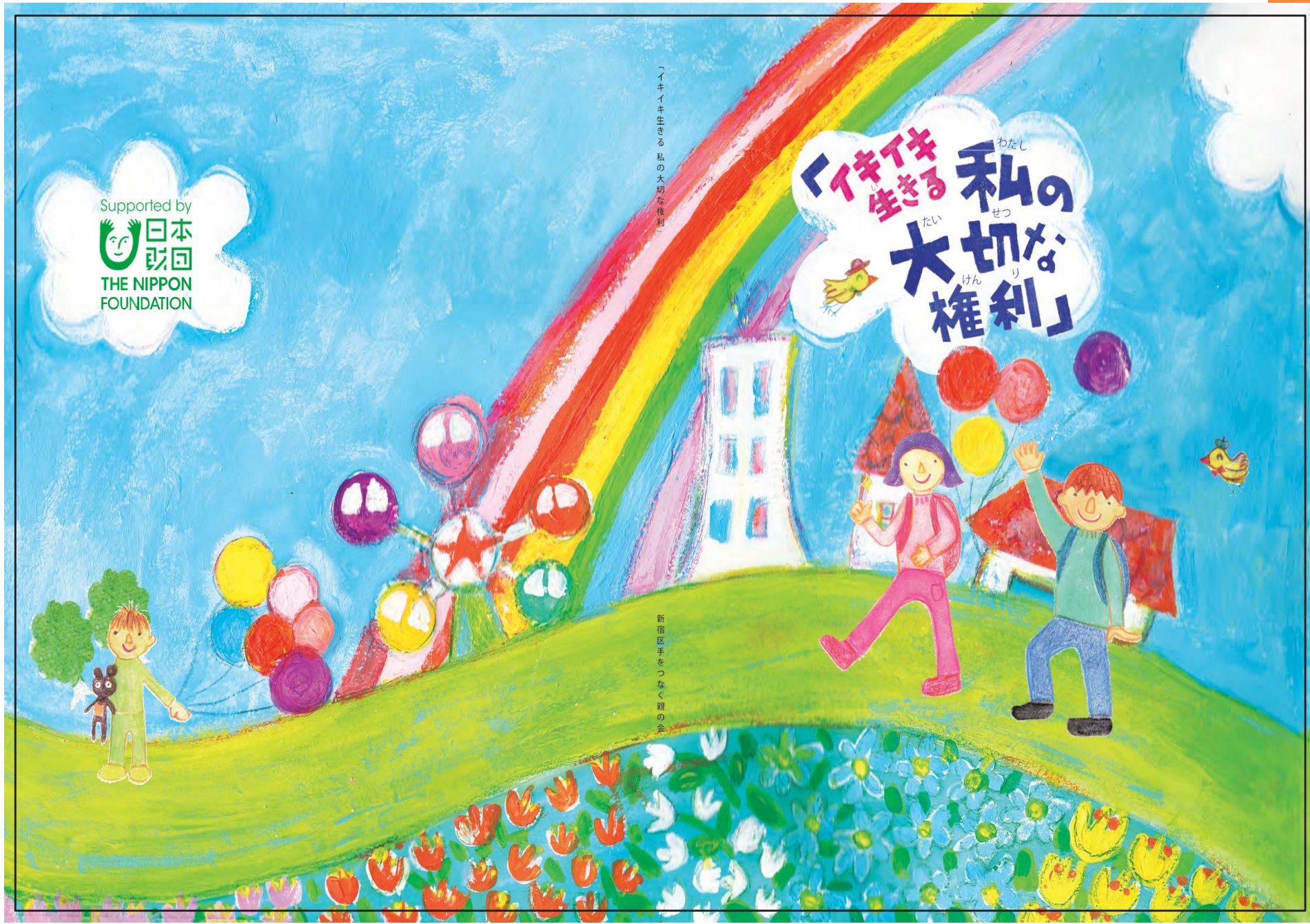
(shinjuku-oyanokai.com/jirei2019)

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

「イキイキ
生きる
わたしの
大切な
権利」

「イキイキ生きる私の大切な権利」

新宿区手をつなぐ親の会



けい い
敬意
たが たい せつ
お互いを大切にします



たいせつ わたし たいせつ
あなたも大切、私も大切

けい い
敬意
たが たい せつ
お互いを大切にします



たいせつ わたし たいせつ
あなたも大切、私も大切

い し ひょう めい
意思を表明する

こころ なが おも こと つた せん り
心の中で思っている事を伝える権利



い し ひょう めい
意思を表明する

えら けん り
選ぶ権利

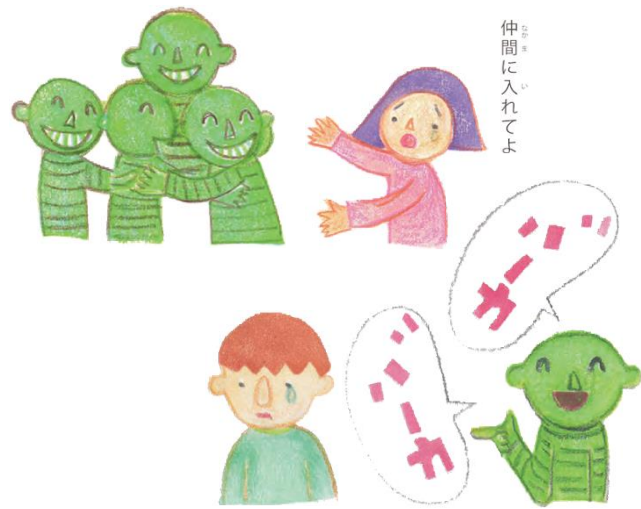


わたし わたし い
私のことは私に言わせて！



わたし えら
私が選びます

虐待の禁止
嫌なことをされない権利



がな くる
悲しいこと、苦しいことをされません

虐待の禁止
たたかれたり、痛いことをされない権利



たたかれたり、痛いことをされません

210×257

27 ^{あん ぜん かん きょう かん けん り} 安全な環境に関する権利 ^{あん ぜん あん しん せい かつ たい せつ けん り} 〈安全で安心な生活のための大切な権利〉 28

^{ぎゃく たい きん し} 虐待の禁止

^{いや} 嫌なこと、^{いた} 痛いことをされたら「やめて!」という権利 ^{けん り}

やめて



^{ぎゃく たい きん し} 虐待の禁止

^{いや} 嫌なこと、^{いた} 痛いことをされたら「いやだ!」という権利 ^{けん り}

いやだ



 「やめて!」と ^{まわ} 周りの ^{ひと} 人に ^い 言います

 「いやだ!」と ^{まわ} 周りの ^{ひと} 人に ^い 言います

2 日々実践 (DO)

- 毎日の積み重ね

どんなにきれいごとと言っても、実践！
毎日の小さなことを大切に

- プロセスを大切に

- 通訳≡橋渡し≡ブリッジング

伝え方の工夫

ちょっとした気遣い



第3 前向きな実践のための理解

1 障がいの理解 ～テキスト上の分類

障害等級・障害支援区分・典型例・分類は一応ある

- 知的障がい
- 精神障がい
- 発達障がい
- Attention-deficit hyperactivity disorder ADHD
多動、注意欠陥、衝動性
- *Autism Spectrum Disorder* ASD 自閉症スペクトラム
対人関係困難、限定的な関心、想像力欠如
- 身体障がい（聴覚、視覚、体幹など様々）
- 内部障がい
- 高次脳機能障がい
- 難病
- 依存症
- 認知症 など



2-1 実際には、 バラエティーに富んでいます

実際には、いろいろな人がいて、人それぞれ

- 障がい特性や傾向には個人差がある
- いろいろな不便さ・困り事がある、時間がかかる
- 困り事が重複している
- できること&できないことの差が大きい
- グレーゾーンの人、自覚がない人もいる
- ワガママと感じるような言動も見られるかも
- 感覚の差・ずれ…極端に過敏・鈍感、速い・遅い
- 理解しがたい場面もある……
 - うー、あー、きー、ピーという独特の叫び
 - 飛び出し、ジャンピング、暴力、破壊
- 言葉が出ない（話せない）、話が苦手
- 理解ができない、わかっていない、わからない

2-2 実際には、 バラエティーに富んでいます

しばらく一緒にいると、次第にトラブルが増える
対人関係、作業遂行能力、感情コントロール、
多動、不注意、無計画、管理不足・放置、忘却



例えば、見通しが持てず待てない
何でもすぐやりたがる
自分が一方的に話す、話が止まらない
突発的なことに弱い
急な予定変更に対応できない
特別なこだわりがある
感情爆発がある、泣き叫ぶ、メソメソする

3 生きていくための力&生きづらさ ～人間いろいろ、凸凹あり、多様性・個人差

- 認知力 ……視野・視界、聞く・聞こえる、触覚
- 感覚力 ……感覚過敏、鈍感、五感、第六感
- 記憶力 ……記憶保存の長短、正確性
- 集中力 ……注意力、瞬発力
- 持続力 ……根気、意欲
- 理解力 ……抽象的概念、会話・文章の長短、論理性
- 想像力・類推力 ……仮定・可能性、他者視点、連想
- 構成力・構想力 ……段取り、全体と部分の関連性
- 表現力 ……理解言語と表出言語、ワードチョイス
- 自己修正力・セルフコレクト ……学習力
- 判断力・決断力 ……見極め、タイミング
- 実行力・対応力・柔軟性 ……見極め、タイミング、適応
- 対人関係力 ……他者視点、推察力、距離感、共感
- 体力・基本的な生活管理能力 ……心身の健康&その管理

4-1 障害特性

～コミュニケーション時の困り事

- 後回しにされた、忘れられた、取り残された、嫌みを言われた、面倒くさそうにされた、仲間に入れてもらなかった
- 無表情だけど、やる気がないわけじゃないんだよ
- よくわからないけど、難しい言葉を使えば馬鹿にされないと思って使ってみた（誤用）
- いつも「お返事しなさい」と言われてきたし、返事すれば話が終わるから、返事はします！
- 「わからないこと」が、わからないので、質問できません！
- ボクの声って大きいのか？TPOって何？
- 鼻や耳を触り体を揺らしリズムを取りながら聞いているのに怒られた……
- 突然、会話やブースに侵入する、空席があっても不必要に隣に座る、前を直角に横切る……自覚なし
- 何回注意しても（お願いしても）同じことを繰り返す

4-2 障害特性

～コミュニケーション時の困り事

- 字が書けない、覚えられない、1回でわからない
- 日により体調や気分が変わる、緊張で話せない
- ついていけないよ～、すぐ疲れちゃう
- 初めての場所で知らない人がいると緊張しちゃうの

でもね……

- 「どうせあの人にはわからないよ」と言わないで
- 「早くはっきり言えばいいのに」と言わないで
- 「なんで、わかんないの？」と言わないで
- 「そんなこと簡単にできるよね？」と言わないで
- 不必要なプレッシャーを与えないで
- 私だって頑張っているんだから、否定しないで
- ちょっとだけ助けてほしい。今、その助けが必要な。

5-1 合理的配慮・小さな心得 ～各自の尊重

- (1) 相手（障がいのある人）の立場に立って考える
人格を尊重し、プライバシーに配慮する
病気や障害の原因・症状、程度、先天性・中途
気持ち・受けとめ方、イヤなもの、様々それぞれ
- (2) 本人にネガティブ感情を抱かない
 - ・ 本人に悪気はない、やる気がないと即断しない
 - ・ 我流・本人なりの理由がある
- (3) 特性を直すのではなく、接し方を工夫する
 - ・ 刺激を減らす
 - ・ ヘルプを求められる体制を作る



5-2 合理的配慮・小さな心得 ～コミュニケーションの工夫

(1) 聞く環境&話す環境の整備が大切

- 笑顔&安心
- 明るく大らかにオープンに
- 名前を呼びながら進める≡その人を受けとめる

(2) 「伝える」と「伝わる」は違う……伝達スキル

- 試行錯誤の努力……前向きに
- つなぎ、通訳、橋渡し、ブリッジング、プロセス
- 感じる力≡「言葉」以外のモノを感じる力
- 聞き上手になる≡顔を見て表情を掴み、うなづく

6 わかりやすくするための工夫 ～事例紹介（参考）

(1) 短くシンプルに

図や写真を活用する（視覚化）

短期集中 ×ダラダラ長い

（視覚障害の方には）全体像がわかるように

(2) ワード・チョイスは大事……知っている言葉で

(3) 相手のペースで、ゆっくりめ

無理しない&慌てない&熱くなりすぎない

波長合わせ、待つ≡忍耐

無視・放置しない……反応・応答する

(4) 小刻みに≡スモールステップ

「ここまで大丈夫ですか？」と確認しながら進む

(5) 便利グッズを活用する≡お互いの負担を軽減する

7 そうは言っても、障害特性いろいろ様々 ～トラブルは起きやすいです

- 怠薬、自己流の治療、ドクター批判、病識が薄い
- どうせ私なんか……屈折・ひがみ・被害妄想、愛着障害
- 一方的に話す、会話にならない、話が止まらない、独語
- 「訴えてやる」などの脅し、暴言、威圧
- 自分至上主義、自己愛、決めつけ、損得勘定丸出し
- すぐ人のせいにする、筋違いの言い訳をする、居直る
- 何事にも満足できない、不機嫌、無反応、無表情
- 自信過剰、承認欲、独占欲
- 好き嫌いを出し過ぎる、支援拒否、白黒思考
- ストレートにぐさぐさ刺す批評、すべてにコメント
- クレイマー、モンスター、引かない、引き際が悪すぎ

第4 学校・保育所等の虐待防止

1 虐待の要因・構造

(1) 「虐待」＝「重大な人権侵害」と認識する

(2) 子どものお世話＝直接的な関わり接触が多い
支配的になりがち→虐待が起こりやすい

(3) 虐待が起きてしまったら……後々まで残る

本人の傷、苦痛が大きい、2次障害、今後の人生に影響
虐待やマルトリートメントがあると、

身体、精神、認知の機能が発達しない

栄養不足、低体重低身長、虫歯、情緒不安定、愛着障害、
反発・敵対、社会性の欠如、対人トラブル、情緒不安定



虐待は防止こそ大切！

2 学校・保育所等で、 こんな暴言や乱暴な対応はありませんか？

- 見ていないところで、子どものお尻を蹴り上げる
- 見えないところを狙って、叩いたり、つねったりする
- 遠くから大きな声で指示をしたり、呼びつける
- ネコ嫌いを知っているのに、わざとネコ顔とからかう
- 言語障害や歩行障害等の言動をおもしろおかしく真似する
- 無言でロッカーを開ける、私物を放り出す
- 排泄処理をしないで、放置する
- 侮辱的に赤ちゃん言葉で話す
- 「あなたに何度説明しても無駄ですね」「やらなくていい」
- 「（普通級でなく）特別支援学校に行け」
- 「存在自体が迷惑だ！面倒くさいヤツだな！」
- 「なぜ生まれてきちゃったの？死ねなかったの？」
- 「はやく！はやく！ノロマ！」「トロい！バカ！」
- 「親も障がい者か！」「あなたは障害者ですね」
- 「自分でやれ！できないくせに！なんで、できないかな？」

3-1 性的虐待の防止

- 性的虐待を許していけない
 - 教職員が本人を性的対象と見ない
 - 絶対ダメだという意識で臨む
 - 加害者の性癖を軽く考えない →基本は分離環境・意識が変わらない限り、繰り返す
- 勤務外、学校・施設外でも虐待認定される場合あり
- 傷が深い、立ち直りが難しい→精神的ケア必要

- 日常生活の中で、人権意識・人権感覚を持つ
- 「見られてもいい支援」をする
 - 透明性・公正さ・明るさ、説明可能な支援
- 利用者との特別な関係は控える
 - 利用者間の公平平等も大切

3-2 現実的な防止対策

「大丈夫だろう」ではなく、現実的な防止策を取る
「まさかあの人が…」という事態が結構ある

- 同性介護基本
- 定期的にチェック
 - シフト確認……大変なわりに1人になりたがる
 - 事故、ヒヤリはっとが一定の時間帯に多い
 - 「魔」の時間??不注意、全体への配慮欠如
- 何らの兆候・サイン・変化を見逃さない
- ふとしたことがきっかけで発覚することがある
 - TVを見ているとき「私も胸を触られた」と告白
- 下着が汚れている、どこかで脱いだ形跡がある
- 生理不順など、健康チェックも時に必要

4 本人の気持ちやモノ、見方を大切に ～「大切にされている」という実感

- 子どもにも、あなたと同じように人格・人権がある
- 威張らない……あなたも昔は子どもだったよね
- 子どものくせに、生意気だと思わない&言わない
- どうせわかんないから、わからないくせに・・と思わない
- 本人に聞こえていないと思わない！
ちゃんと聞いている見ている&ちゃんとわかっている
- 自分基準で考えない（子どもは、とてもデリケート）
- 謝るべきときは謝る、自分のミスを認める
- 「無視、放置」＝「存在そのものの否定」
- 体験&小さなことでもエンパワメントし続ける

5 親の気持ち&苦悩も受けとめる

- 頭ではわかっているけど、親として愛情もあるけど…感情コントロールができない、ぎゃん泣き、こだわり、拒否、動きが鈍いor速い、言葉が出ない、無反応
手が出る、お友達を叩く、モノに当たる

実際、自分の想定どおりにいかないことが多い

- 育てにくい子もいる……心身ともに疲弊
- 「普通」への執着、呪縛、敵対、矯正志向、比較に悩む
- 諦め、隠し、逃げ、放棄、どうして？と自問自答
- すべてが責められているように「感じる」
- 不十分な支援環境への不満&怒り、閉塞感、抵抗
→ 親の支援も大切です！

第5 医療機関等の虐待防止

1 虐待の要因・構造

- 医療の力が大きい（生命の危険防止）
「権力」がある、病識のない「患者」
- 大人同士でも、構造的に対等な関係ではない
- 長期間・固定的な集団処遇、支配管理・上下関係
- 身辺介助＝直接的な関わりもある
- 長期入院＝マンネリ、慣れっこ
- 問題の根源は本人にあるとされやすい
病気・障害ゆえの反発抵抗などトラブル多数
- 支援スキル不足
- 人員不足（時間的余裕なし・精神的余裕なし）
- 閉鎖的、密室⇨古い体質、「狭い」特有の世界
- 人格を認めず見下す場合もある（人権意識の欠如）

2 気になる支援（現場の声）

- 職員の都合を優先し、食事介助や移動介助が雑になっている
- 言葉は丁寧だが、圧を感じる言い方がある
- 上から目線の発言・態度をとってしまう
- 利用者の前で腕組みしながら話す
- ゆとりがなくなり、きつい口調になってしまう
- 待ちきれず「はやくして」と言う
- 頻繁なトイレの失敗にイラつく、対処が苦しくなる
- 「待ってて」と伝え、待たせすぎてしまう
- 利用者の声に無反応で淡々と無表情で接し続ける
- つい「〇ちゃん〇くん」と言ってしまう
- 「あなたは〇が向いているから△しましょう」と決めつける
- 過剰なボディタッチがよいコミュニケーションと思っている
- プライバシーを無視する、個人情報共有ルームで話す

3 「生きている」この人とのやり取り ～毎日の小さなことを大切に

- 排泄、入浴、移動、食事の介助は、利用者の生活の営み
ルーティン「作業」としない、職員の都合を優先させない
自分で思うように動けない苦しみを考える
身体への接触は、とてもセンシティブなもの
- 「言えない、言わない」けど……を理解する
ボクらは、職員の暴力や暴言は、しっかり覚えているよ
「行動障害」って言うけど、原因・理由があるもん
家族や職員に「あれが嫌だ」って心の中で叫んでいるよ
- 口は災いのもと＝言葉は人を傷つける武器になる
「考えて」から発言しよう、一旦出たものは戻らない
自分は忘れても、相手は覚えている

4 身体拘束・行動制限の原則例外

原則：正当な理由がない身体拘束は許されない

原則として「身体的虐待」に該当する

例外：緊急やむを得ず行う場合・例外3要件

①切迫性 （生命身体への危険の緊急性）

②非代替性（制限最小の方法）

③一時性（必要最小限の時間）

* 3つとも充足することが必要

必ず記録化すること

* 通知、指針、ガイドライン、マニュアルに忠実に

* 医療、安全とのバランスが重要！

5 異性介助は、 本当にやむを得ないものなのか？

- (1) 間に合わないとき……やむを得ないときもある
失敗前に緊急介入できたときは、それはそれでよし
でもね、利用者がなんとか待てそうなときは……
「少し待てるなら、女性職員を呼びます」と
言える余裕（環境）があるか？
経験により、少し早めに自分から言い出せるかも……
- (2) 排泄の意味を考える、介助時の羞恥心を忘れない
「毎回なのに恥ずかしいのか？」という慣れの怖さを
自覚する
- (3) 体制整備・シフトの工夫
職員の性的関心の徹底排除→同性介助が基本
バイオリズムに応じた人員配置工夫など

第6 まとめ

～虐待を容認しない、放置しない

- (1) 普段の「暮らし」の安全・安心を守る
「それぞれ自分らしく楽しく生きる」を支える
普段の努力（謙虚さ）& 不断の努力（継続）！

- (2) 「気づき」から「行動」へ
気づき+虐待防止のために実際に行動しよう
 - ・ 見捨てない&見放さない&問題から逃げない
 - ・ 行動へ……1人で抱え込まず、つなぐ

- (3) 定期的に振り返りをしよう
人権意識、権利擁護、倫理、理念を大切にする

ご清聴ありがとうございました。

毎日の小さなことを大切に！



千葉県マスコットキャラクター
チーバくん